

令和8年7月13日

関係機関長および関係各位

京都大学自然科学域防災学系長
(防災研究所長)

渦岡 良介

教員の公募について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とした組織であり、平成22年度より、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、京都大学では、教員は教員組織としての学系に所属し、部局は教育研究組織と位置づけられています。

敬具

記

1. 職 種： 教授
2. 募集人員： 1名
3. 所 属： 京都大学自然科学域防災学系
4. 勤務場所： 京都大学防災研究所
地震・火山研究グループ 地震防災研究部門 耐震機構研究分野
(所在地：宇治市五ヶ庄)
大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等

5. 職務内容：

解析や実験を通じた建築構造の限界耐力評価、または現地調査に基づく損傷状態等の実態評価を活用して、建築物の耐震性能を高精度に評価する手法に関する研究を進める。その成果を踏まえて地震発生後の事業継続を念頭に置いた建築物の機能性を評価する手法を開発することによって、建築物の性能を向上するための技術開発を行う。また、国内外の研究者と連携した共同研究の推進、理工融合の防災研究の牽引、さらには我が国の建築物の設計に関する規基準の策定・改訂等への積極的な関与も期待する。教育面では、工学研究科建築学専攻の教育を担当する予定である。

6. **資格等**： 博士の学位を有すること。日本語でも講義を行えること。
7. **採用予定日**： 令和9年4月1日以降、可能な限り早い時期
8. **任期**： なし
9. **試用期間**： あり（6ヶ月）
10. **勤務形態**：
- ・ 専門業務型裁量労働制を選択した場合は、1日7時間45分相当、週38時間45分相当
 - ・ 専門業務型裁量労働制を選択しない場合は、週5日 8:30～17:15 勤務（休憩 12:00～13:00）
 - ・ 超過勤務を命じる場合あり
 - ・ 休日：土・日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始、創立記念日
11. **給与・手当等**： 本学支給基準に基づき支給
12. **社会保険**： 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、及び労災保険に加入
13. **応募方法**：
- 次の(1)～(6) 各一式の書類を封入の上封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書し、書類提出先へ書留扱いにて郵送、または持参してください。電子メールやインターネットを通じた申請は受理いたしません。
- (1) 履歴書
 - (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに分けしたもの）
 - (3) 主要論文別刷（コピー可）5編以内
 - (4) 研究業績の概要（A4用紙4ページ以内）
 - (5) 今後の研究計画及び抱負（A4用紙4ページ以内（説明図の利用可）。これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
 - (6) 2名からの推薦書（推薦書に代えて、応募者について意見を伺える方の氏名と連絡先でも可）
14. **書類提出先**：
- 〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
地震防災研究部門 耐震機構研究分野 教授候補者選考調査委員会 宛
15. **応募締切**： 令和8年10月13日（火）17時【必着】
16. **選考方法**： 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。
17. **問い合わせ先**：
- 地震防災研究部門 耐震機構研究分野 教授候補者選考調査委員会 宛
e-mail: apply_staff‘at’ dpri.kyoto-u.ac.jp （‘at’を@に置き換えてください）
（電子メールに限ります）
18. **その他**：
- (1) 応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。

- (2) 京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。本学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。
- (3) 研究業績の評価に関しては、出産・育児・介護等で研究活動を休止した期間（ブランク期間）の影響を考慮します。ブランク期間がある場合は、研究業績一覧の最後に記載してください。
- (4) 京都大学では、すべてのキャンパスにおいて屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。
- (5) 10. および11. の詳細は下記 web ページ「国立大学法人京都大学就業規則一覧」をご覧ください。<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/organization/kisoku/kichiran.html>

地震防災研究部門の概要

1. 研究目的及び研究内容の概要

地震防災研究部門は、地震発生機構、強震動、耐震基礎、耐震機構の4研究分野で構成され、地震発生場、震源断層、地震の発生、地震波の伝播、強震動の生成、地盤・構造物基礎の動特性、構造物の地震時応答、耐震対策・モニタリング、耐震設計・施工という、地震防災に関わる研究課題に対して、理学および工学的アプローチを融合し、科学的かつ総合的に取り組み、その帰結として地震防災を通じた社会の安全安心に貢献することを目的として研究を実施している。

地震発生機構研究分野

地震ハザード評価の高度化を目的として、地震発生の物理に関する研究、地震発生予測に資する基礎的研究や地震早期警報に貢献する研究を推進するとともに、地震波形データを用いた各種の自然災害現象の理解と減災に活用する方法も探求している。

強震動研究分野

大地震時の強震動予測に関する研究として、震源での強震動生成機構の解明や地震動の伝播、サイト近傍での表層地質が地震動に及ぼす影響等の解析的研究と、それらを踏まえた広帯域強震動シミュレーション手法の開発、及び強震動予測手法の高度化を目指した研究を行う。

耐震基礎研究分野

土木施設および土木構造物の耐震性能を向上させるため、合理的な入力地震動のモデル化、地盤—基礎—構造物系の動的応答特性の把握、構造物の破壊性状の理解、および危機耐性確保手法に関する研究を行う。応用力学に基づく理論的枠組み、実験／観測による現象の把握を基礎として、地震学との連携により研究を推進する。

耐震機構研究分野

建物の耐震性能を高度化する技術ならびに高精度に評価する手法の研究を、解析と実験、静的手法と動的手法、順問題と逆問題を組み合わせながら推進している。人命確保のみならず、地震

後の事業継続を考慮した耐震性能の評価、既存建物の耐震補強技術の開発にも取り組んでいる。

2. 現在の教員構成（2026年7月1日現在）

	【教 授】	【准教授】	【助 教】
地震発生機構研究分野	宮澤 理稔	山田 真澄	(空 席)
強震動研究分野	浅野 公之	岡崎 智久	(空 席)
耐震基礎研究分野	後藤 浩之	(空 席)	(空 席)
耐震機構研究分野	池田 芳樹†	倉田 真宏	_____

† 令和9年3月31日定年退職。今回公募。

なお、当研究部門は、地震災害研究センター、火山防災研究センターとともに地震・火山研究グループを構成し、緊密な協力の下に研究を進めています。地震・火山研究グループは、地震・火山に関わる災害の発生と拡大のメカニズムを科学的に解き明かすとともに、理学と工学の密接な連携のもとに、これら災害から人命と資産を守り、安全で安心な社会を確保するための諸技術・方策の開発や高度化に関わる基礎的・応用的研究を推進しています。詳しくは、京都大学防災研究所のホームページ <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp> をご参照下さい。

共同利用・共同研究拠点について

防災研究所は、大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用し、共同研究を行う全国共同利用研究所として、共同利用や共同研究を推進してきました。平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

**Professor Position in the Research Section of Earthquake Resistant Structures,
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University**

July 13, 2026

The Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for a permanent Professor position.

Location: Research Division of Earthquake Disasters, Seismic and Volcanic Hazards Mitigation Research Group, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan (at home or other places if University allows or orders to work remotely).

Job description and required qualifications:

The appointed professor will focus on conducting research related to methods to evaluate seismic performance of buildings with high accuracy, by utilizing limit state evaluation of structures through analysis and/or experiments, or evaluation of actual damage conditions based on on-site surveys. Based on these results, technology development for improving building performance will be conducted by developing methods to evaluate the functionality of buildings considering business continuity after earthquakes. Furthermore, promoting collaborative research with domestic and international researchers, leading the integration of science and engineering research for disaster prevention studies, and active involvement in developing and revising standards and guidelines related to buildings in Japan are expected.

The candidate will be responsible for educating students in the Department of Architecture and Architectural Engineering at the Graduate School of Engineering, Kyoto University. A Ph.D. or an equivalent degree is required, and the candidate is expected to teach classes in Japanese.

Anticipated start date: As soon as possible on or after April 1, 2027.

Probation period: 6 months

Working time: Discretionary labor system (standard working hours: 7 hours 45 minutes per day, 38 hours 45 minutes per week). If the discretionary labor system is not chosen the working hours are from 8:30 to 17:15 with a break between 12:00 to 13:00. Overtime may be ordered. Days off: Saturdays, Sundays, Statutory holidays under the Act on National Holidays, Year-end and New Year's holidays, and Anniversary of Foundation of the University.

Salary and Allowance: To be determined in accordance with Kyoto University regulations.

Social insurance: (1) National Public Service Mutual Aid Associations, (2) Employee's pension insurance, (3) Unemployment insurance, and (4) Worker's accident insurance

Applicants should prepare the following materials:

- (1) Curriculum vitae
- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of up to five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to four A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to four A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letters from two references (a recommendation letter may be substituted by the name and contact information of a reference, including the postal address, and e-mail address)

The complete application package must arrive by the deadline of 17:00 JST, October 13, 2026 at the following address:

Selection Committee for Earthquake Resistant Structures Professor
Administrative Office, Uji Campus,
Kyoto University
Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

Applicants must send the package by registered mail or direct submission. Applicants are not allowed to submit it by e-mail or through internet.

For inquiries, you can send e-mail to `apply_staff 'at' dpri.kyoto-u.ac.jp` (replace 'at' with @)

For more information about DPRI, see <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/en/>.

Additional notes

- (1) The university will not return your application documents.
Personal information contained in the application documents will be used solely for the purpose of screening applicants and never for any other purposes.
- (2) Kyoto University is building a culturally diverse faculty and strongly encourages applications regardless of gender or disability.
The university is an Equal Opportunity, Affirmative Action Employer.
- (3) With regard to the evaluation of research achievements, the impact of periods of interruption in research activities due to childbirth, childcare, nursing care, etc. (blank periods) will be taken into consideration. If there are blank periods, please indicate them at the end of the list of publications.
- (4) The university prohibits smoking in all campus buildings except in designated outside smoking areas for the purpose of preventing the adverse health effects of second-hand smoke.

Current staff (as of July 1, 2026)

Research Section	Professor	Associate Professor	Assistant Professor
Earthquake Source Mechanics	Masatoshi Miyazawa	Masumi Yamada	Vacant
Strong Motion Seismology	Kimiyuki Asano	Tomohisa Okazaki	Vacant
Dynamics of Foundation Structures	Hiroyuki Goto	Vacant	Vacant
Earthquake Resistant Structures	Yoshiki Ikeda †	Masahiro Kurata	_____

† Retires on March 31, 2027. This recruitment.